

IAEA リーゼ・マイトナープログラム 開催報告

2025年6月9日～6月20日

共催：内閣府・原子力委員会

協力：原子力人材育成ネットワーク

東京大学

日本原子力研究開発機構

日本原子力産業協会

原子力国際協力センター

外務省

IAEA リーゼ・マイトナープログラム（LMP）の概要

目的

各国にIAEAが募集した若手～中堅の原子力分野女性専門家15名程度を2週間程度派遣し、講義・研修・視察を通じた能力向上

開催期間

2025年6月9日（月）～6月20日（金）

開催地

東京大学 本郷キャンパス 工学部5号館 他

研修生

海外研修生 12名 日本研修生 3名

参加国 アルゼンチン、カナダ、中国、フランス、インドネシア、カザフスタン、パキスタン、ポーランド、シンガポール、スペイン、アメリカ、ベネゼエラ（海外12か国） 及び 日本



プログラムの概要

日程	行程
9(Mon)	開講式、基調講演／Welcome Lunch／リーダーシップ
10(Tue)	講義／グループワーク／Win-JAPANとの交流
11(Wed)	講義／グループワーク／リーダーシップ
12(Thu)	講義／グループワーク
13(Fri)	浜岡原子力発電所
14(Sat)	文化体験
15(Sun)	---
16(Mon)	JAEA (NSRR) ／WENとの交流
17 (Tue)	JAEA (原子力人材育成・ISCN、HTTR) ／JAEAとの交流／グループワーク
18 (Wed)	廃炉資料館／1 F／JAEA (NARREC) ／グループワーク
19 (Thu)	日立臨海工場／千代田テクノル／Farewell Reception
20 (Fri)	グループワーク・総括／閉講式

スクールの内容 講義

- 世界の原子力発電と展望 (IAEA)
- 福島第一原子力発電所事故の概要 (IAEA)
- 原子力発電所の運転管理における人的・組織的特徴：福島第一原子力発電所事故からの教訓 (IAEA)
- 原子力安全における先進技術 (東大)
- 原子力技術の進歩の概要 (東大)
- 原子力熱水力学及び原子炉工学のためのAIアプリケーション (東大)
- 放射線安全、緊急事態への備え及び対応における先進技術 (東京医療保健大、JAEA)
- 福島第一原子力発電所の廃炉に関する対話 (東電、NRA)
- 緊急事態におけるリーダーシップ-福島第二原子力発電所での経験 (JNFL、元福島第二原子力発電所長)



講義の様子①



講義の様子②

スクールの内容 グループワーク

プロフェッショナル・デベロップメント/リーダーシップ

プロフェッショナル人材としての成長や、他者・自己理解能力、コミュニケーション力や発信力の活用方法、目標達成に向けた戦略などについて議論し、発表した。



全体ディスカッションの様子



グループディスカッションの様子

スクールの内容 施設見学

- 中部電力浜岡原子力発電所
- 日本原子力研究開発機構
 - 原子炉安全性研究炉（NSRR）
 - 原子力・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（ISCN）
 - 大洗研究所 高温工学試験研究炉（HTTR）
 - 梶葉遠隔技術開発センター（NARREC）
- 東京電力HD廃炉資料館、福島第一原子力発電所
- 日立臨海工場
- 千代田テクノル



JAEA NSRRでマニピュレーターを用いた実習



JAEA ISCNでのVRを用いた実習

文化体験

訪問先（静岡）

- ・久能山東照宮
- ・日本平ホテル（ランチ）
- ・匠宿（伝統工芸体験）



久能山東照宮



日本平ホテル



竹細工体験



日本平ホテルランチ



藍染め体験

日本の女性リーダーたちとの交流

WiN-JAPAN



WiN-JAPANの若手技術者、研究者との交流
日本における働く環境、キャリアパスなどの紹介の後
お互いの国の環境や自身の目標などについて意見交換

WEN



WENとの交流
一般の人々にエネルギーをわかりやすく伝えるWENの
活動について紹介
WENより日本人の放射線や廃棄物に関する認知度等の
調査結果を紹介し、意見交換

JAEA女性職員



JAEA職員との交流
JAEAにおける仕事と家庭の両立支援制度などの紹介の後
キャリアを重ねる上で必要なサポートについて意見交換

スクールの内容 閉講式



まとめ

研修生からの評価

改善点：

- 講義や視察の内容を消化する余裕のある時間の確保
- 専門家との直接対話やネットワーキング、グループ討議の機会の拡充
- フォローアップ（アルムニイベント）を希望

評価された点：

- 技術的内容、専門的内容、リーダーシップ開発セッションがバランスよく統合
- 円滑な運営

まとめ

- ◆ 若手女性専門家に対して最先端講義と現地実習を融合させた包括的なキャリア開発の機会を提供
- ◆ 国際的なネットワークが広がり、日本とIAEAの協力体制が強化
- ◆ 研修生のキャリア形成に資する知識・スキルの向上、今後のネットワーキングの活発化、国内外のネットワーク拡大による長期的な協働基盤の構築が期待される成果